

田んぼの恵みを味わって！ 横浜育ちの酒米で日本酒ができました！！

横浜市は、市内に残された貴重な水田の保全に取り組んでいます。このたび戸塚区東俣野町の生産者とともに試験栽培した酒米で作った日本酒が完成しました。市内の美しい田園風景に思いをはせながら、市内産の酒米を100%使用した日本酒を味わってみませんか？



1 取組の概要

- 水田を保全するための新たな取組として、戸塚区東俣野町の水田で、生産者とともに酒米の試験栽培を行いました。
- 9月に収穫された酒米は、**横浜で初となる市内産酒米100%使用した日本酒**として醸造され、**令和4年2月16日（水）から出荷**されます。
- 日本酒や市内産米の消費を通じて、横浜の米づくりを応援してください。

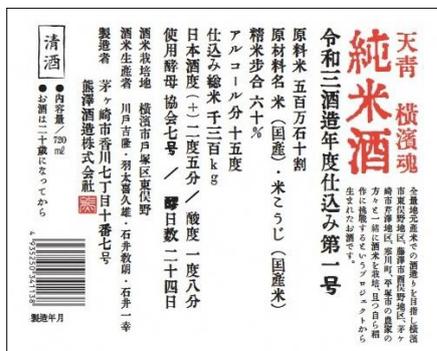


【酒米を作付けした水田】

2 日本酒について

- 商品名：^{てんせい}天青 ^{よこはままだまい}横濱魂
- 種別：純米酒（精米歩合60%） 米の品種：五百万石
- 特徴：東俣野町で湧水を使って生産された良質な酒米を100%使用し、新酒の純米酒らしく爽やかな印象で米の味わいがはっきりと感じられる日本酒です。
- 製造者：熊澤酒造株式会社（茅ヶ崎市香川7-10-7）
- 価格：720ml 1,650円（税込）
- 取扱店：裏面参照

Instagramで
製造工程の動画
を配信中！



製品ラベルについて

今回の製品化に合わせ、栽培地「戸塚区東俣野」と生産者氏名を記載したラベルが新たに作成されました。

（酒米を栽培した生産者のコメント）

念願が叶い、地元産の酒米を使ったお酒が出来上がりうれしく思います。飲める楽しみがあるので、ご飯用のお米づくりとはまた違ったやりがいを感じています。来年以降もぜひ地元産米100%で仕込みができるよう生産を続けたいです。

（熊澤酒造株式会社^{とうじ}社長のコメント）

東俣野町は水温の変化が少ない湧水で米作りがされているので良質の米が取れています。酒米生産に力を入れてくださる生産者の方々と、長期にわたり一緒に取組を行える関係を築いて行きたいと思っております。

3 これまでの経過

- 横浜市では、横浜みどりアップ計画に基づき、水田の保全に取り組んでいます。
- 平成28年度より職員発意により、水田保全策の1つとして酒米づくりができないか、検討を進めていました。
- そんな折、戸塚区東俣野町の生産者から、酒米栽培に取り組みたいと相談が寄せられました。同時期に熊澤酒造株式会社が全量地元産酒米での酒造りのプロジェクトを開始したことから、市が橋渡し役を担い、令和2年度には東俣野町の水田で試行的に酒米の栽培がスタートしました。
- 令和3年度は賛同する生産者が増え、試験栽培に取り組んだところ、一仕込全量分（四合瓶約3,000本）をまかなえる収量が得られました。
- 慣れない酒米づくりを支援するため、令和3年度に横浜市とベジタリア株式会社が連携し、水田用センサー等のスマート水田の技術を活用して生育調査を実施しました。今後、試験栽培や生育調査を継続して行い、取組みの拡大について検討していく予定です。



【酒米収穫の様子】



【生育調査の実績】

【参考】

■スマート水田共同研究プロジェクト

横浜都市農業推進プランに基づき、活力ある都市農業を未来につなげていくため、令和3年6月に横浜市とベジタリア株式会社（本社：東京都渋谷区）は連携協定を締結しました。横浜市が事業推進を図るうえで抱える担い手の確保や耕作放棄地対策等、様々な課題に対して、同社の保有する多様な知識や技術等を活用した実証実験等により、問題解決力の向上や新たな解決手法の創出が期待できます。

この協定にもとづき、令和3年度はスマート水田の技術に関する共同研究をプロジェクトとして実施しています。

当プロジェクトでは、酒米等の新たな作物・品目の栽培を試行し、気温や水温等の環境状況や栽培方法等の各種モニタリングデータを蓄積・分析することにより、地域特性に合わせた栽培暦（ごよみ）を作成し、品質や収量の安定化と担い手の確保を目指します。

■日本酒の取扱店について

- ・取扱店：市内7店舗（予定）

三河屋（西区・CIAL 横浜）、元町愛知屋（中区・元町ショッピングストリート）、2416MARKET CAVE（西区・ニューマン横浜）、横浜君嶋屋（南区）、吉祥（港北区ほか）、リカーショップ松本屋（戸塚区・トツカーナモール）、つるや（戸塚区）

※限定品のため、販売数に限りがあります。販売開始日は店舗によって異なる場合があります。



「横浜農場」について・・・

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。

お問合せ先

横浜市環境創造局農政部農政推進課長 近藤 元子 Tel 045-671-2605